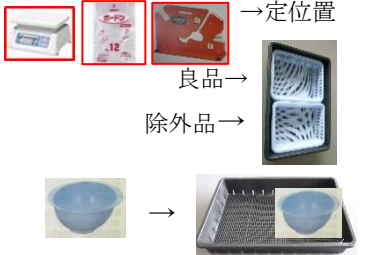




令和8年度青森県特別支援学校技能検定・発表会  
**「農業分野」【選果調製】指導マニュアル**  
 (制限時間10分)

作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
1 開始	 <p>審査員の「□番 ○○学校△△ (氏名)さん、 始めてください。」で開始する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査員の呼名に対して「はい。」と返事をしてスタートラインに立ち、「□番○○学校、△△(氏名)です。始めます。」と言って一礼し、入室する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★①スタートラインで開始を伝えることができたか。</li> <li>衛生的な服装で受検する。</li> <li>審査員に伝わるように開始を伝える。話すことが難しい場合などは、必ず合理的配慮の申請をする。</li> <li>手洗いは事前に行う。</li> <li>開始を伝えた時か、開始を伝えられなかった場合はスタートラインを越えた時から計測を開始する。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>※計測開始</b></p>
2 作業準備		<ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみを整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛生面の観点から②③④⑤の順で行う。</li> <li>★②マスクの装着ができたか。</li> <li>マスクの上下を正しく着ける。表裏は問わない。鼻から顎までを隙間の無いように覆う(ワイヤーを鼻の形に合わせる)。</li> <li>マスクを着用できない場合は、必ず合理的配慮の申請をする。</li> <li>★③キャップの装着ができたか。</li> <li>耳まで被り、髪の毛を全て覆う。</li> <li>★④手指の消毒ができたか。</li> <li>★⑤手袋の着用ができたか。</li> <li>キャップや手袋を床に落とした場合は、所定のごみ箱に捨て、新しいものと取り換える。</li> <li>★⑥順番どおりに準備できたか。</li> </ul>
3 ミニトマト (1) 選果	<p>ミニトマト(丸中玉) 除外品の選別(①緑、②黄・橙、③へた無し、④細長)</p> <p>良品 → </p> <p>除外品 → </p>	<p>選果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品コンテナから除外品4種類を選別し、除外品コンテナへ入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★⑦除外品を選別することができたか。</li> <li>商品コンテナには、良品250gと緑1個、黄・橙1個、へた無し1個、細長1個が入っている。除外品以外を除外した場合は不可とする。4個除外した後も除外品が残っていないか必ず確認をする。</li> <li>検定中にへたが取れたものも除外品として、必ず除外品のコンテナへ入れる。</li> <li>作業中に床へ落としたミニトマトは除外品コンテナへ入れ、手袋を消毒し、作業を続ける(テーブル上は良品に戻してよい)。</li> </ul>
(2) パック詰め、 計量	<p>200g</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品コンテナからパックに200~210gで計量をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★⑧パックをセットし、ゼロ設定ができたか。</li> <li>必ず電源を入れてからパックをセットする。</li> <li>★⑨計量ができたか。(200~210g)</li> <li>パックに良品をそのまま入れて計量する。一度に何個入れてもよい(すくって入れてもよい)。へたの向きは問わない。</li> </ul>

	<p>完成品コンテナ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成品を完成品コンテナへ入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バック詰め途中でヘタが取れた場合は、対象のミニトマトは除外品コンテナに入れ、計量を続ける。</li> <li>★⑩バックの蓋を完全に閉めることができたか。</li> <li>トマトをつぶさないように気を付けて蓋を完全に閉める（上段をなるべく平らに積む。閉めたときにパチンと音が鳴る）。</li> <li>作業中に床に落としたり汚れたりしたバックは道具入れに入れ、手袋を消毒し、作業を続ける。</li> <li>★⑪完成品コンテナへ入れることができたか。</li> </ul>
<p>(3)片付け</p>	 <p>→一定位置 良品→ 除外品→</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用した物品を指定位置に戻す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★⑫除外品の片付けができたか。</li> <li>★⑬良品の片付けができたか。</li> <li>除外品コンテナと良品コンテナの位置は問わない。両コンテナがミニトマトのコンテナに収まっていればよい。</li> </ul>
<p>4 ジャがいも (1)選果</p>	<p>ジャがいも (男爵) 除外品の選別 (①緑皮、②キズ)</p> <p>良品→ 除外品→</p> 	<p>選果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品コンテナから除外品2種類を選別し、除外品コンテナへ入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★⑭除外品を選別することができたか。</li> <li>商品コンテナには、良品 1,300g と皮の一部が緑のもの1個、キズがあるもの1個が入っている。除外品以外を除外した場合は不可とする。2個除外した後も除外品が残っていないか必ず確認をする。</li> <li>作業中に床へ落としたりジャがいもは除外品コンテナへ入れ、手袋を消毒し、作業を続ける（テーブル上は良品に戻してよい）。</li> </ul>
<p>(2)計量</p>	<p>1,000g</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品コンテナからボウルに1,000～1,100gで計量をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★⑮ボウルをセットし、ゼロ設定ができたか。</li> <li>必ず電源を入れてからボウルをセットする。</li> <li>★⑯計量ができたか (1,000～1,100g)</li> </ul>
<p>(3)袋詰め、バッグシーラー</p>	<p>計量後の商品を袋に入れる。</p>  <p>完成品コンテナ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>袋に詰める。</li> <li>バッグシーラーで袋を閉じる。</li> <li>完成品を完成品コンテナへ入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★⑰丁寧に袋に詰めることができたか。</li> <li>一度に複数個ずつ袋に入れてもよいが、ジャがいも同士が強くぶつからないように優しく入れる。</li> <li>★⑱バッグシーラーをかけることができたか。</li> <li>隙間の無いように絞って、バッグシーラーをかける（根元をバッグシーラーに通していれば、多少の隙間はよい）。</li> <li>バッグシーラーのやり直しは可とする。やり直しで生じたテープ等は道具入れに入れる。</li> <li>作業中に床に落としたり汚れたりした袋は道具入れに入れ、手袋を消毒し、作業を続ける。</li> <li>★⑲完成品コンテナへ入れることができたか。</li> </ul>

<p>(4) 片付け</p>	 <p>→定位置 良品→ 除外品→</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用した物品を指定の位置に戻す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★⑳除外品の片付けができたか。</li> <li>★㉑良品の片付けができたか。</li> <li>・除外品コンテナと良品コンテナの位置は問わない。両コンテナがじゃがいものコンテナに収まっていればよい。</li> <li>★㉒ボウルの片付けができたか。</li> </ul>
<p>5 終了準備</p>	<p>マスク キャップ ウェットティッシュ 手袋</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェットティッシュで作業台を拭く。</li> <li>・手袋用、マスク・キャップ・ウェットティッシュ用に区別して捨てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★㉓ウェットティッシュで作業台を拭くことができたか。</li> <li>・作業台のはかり(赤いライン)より左側を拭き残しが無いように拭く(縦拭き、横拭きは問わない。右側は拭く必要はない)。ウェットティッシュは複数枚使用してもよい。</li> <li>・はかりは動かさない(故障・破損防止のため)。</li> <li>★㉔手袋、マスク、キャップ、ウェットティッシュを所定の容器に捨てることができたか。</li> </ul>
<p>6 終了</p>	 <p>スタートラインに立ち、姿勢を正す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の場所に立つ。「終わりました。」と言って終了を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★㉕スタートラインで終わりの報告ができたか。</li> <li>・審査員に伝わるように報告をする。話すことが難しい場合などは、必ず合理的配慮の申請をする。</li> <li>・終わりの報告を伝えた時か、報告がない場合はスタートラインを越えた時に計測を終了する。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>※計測終了</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★㉖時間内に終了することができたか。</li> </ul>

※困ったときに、挙手や声掛けで係員を呼ぶことができる。ただし、係員は次の工程を教えることはしない。

※作業項目ごと(1開始、2作業準備、3ミニトマト、4じゃがいも、5終了準備、6終了)に可・不可の判断をする。次の作業項目に移り道具等に触れた後は、前の作業項目に戻って正しくやり直しても不可とする。

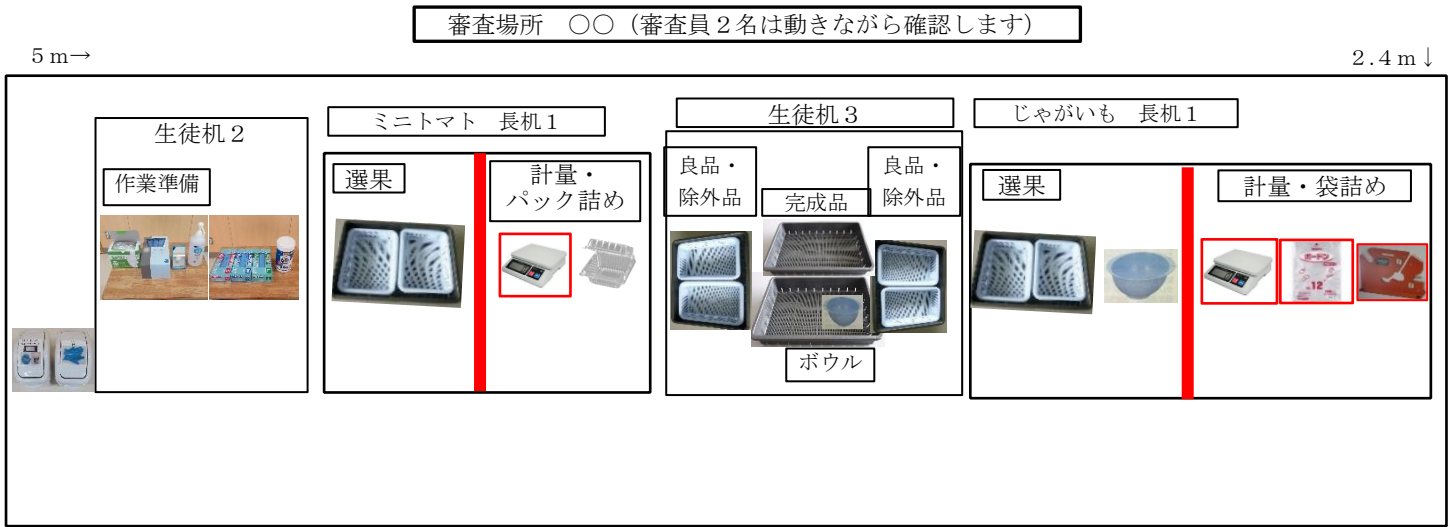
※10分経過した時点で検定終了とする。以降の評価内容(★)は不可として扱う。

※1級は、2級(チェック1個まで)かつ5分30秒以内で終えた場合とする。3級以下の場合、5分30秒以内で終えても級が上がることはない。

※待機中は他生徒の検定が見える位置で待機する。他生徒の検定を見ることで影響がある場合は、午前又は午後の最初に受検したり、検定場所に背を向けて座ったりすることも可能とする。その場合、必ず合理的配慮の申請をすること。

※各自の待機時間を短くするため、次者の準備が出来次第、時間を空けずに進行する。そのため、タイムテーブルの時間よりも早くなることもある。

【会場図】 ※詳細な配置は伝達講習会で明示・説明する。



スタートライン (検定長机から2m離す)

受検者待機場所

椅子5 ○○○○○ (検定長机から3m離す)